

かわ こ
川つ湖通信 第3号



(本誌はホームページでもご覧いただけます。http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/naisuimen)

平成21年度秋季 シジミ資源量調査結果

～ヤマトシジミ資源回復の兆し～

島根県水産技術センターでは平成 21 年 10 月 13・15・16 日に“調査船ごず”により宍道湖のヤマトシジミ資源量調査を実施しました。

秋季資源量調査結果

宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量を計算したところ、1,714 億個、63,528 トンと算出され、前年秋季（平成 20 年 10 月：53,374 トン）と比較すると約 2 割上回っています（表 1）。

宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量は平成 18 年、19 年にへい死があり減少していましたが、その後は僅かながら増加の傾向にあり、資源回復の兆しが見え始めました（図 1）。

表 1 平成 21 年度秋季ヤマトシジミ資源量調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	6,165	474	2,524	19,407
2.1～3.0m	6.2	33	9,733	601	3,510	21,694
3.1～3.5m	4.8	32	8,256	393	2,946	14,021
3.6～4.0m	5.3	28	4,611	246	1,577	8,406
計	24.0	125	7,155	1,714	2,651	63,528

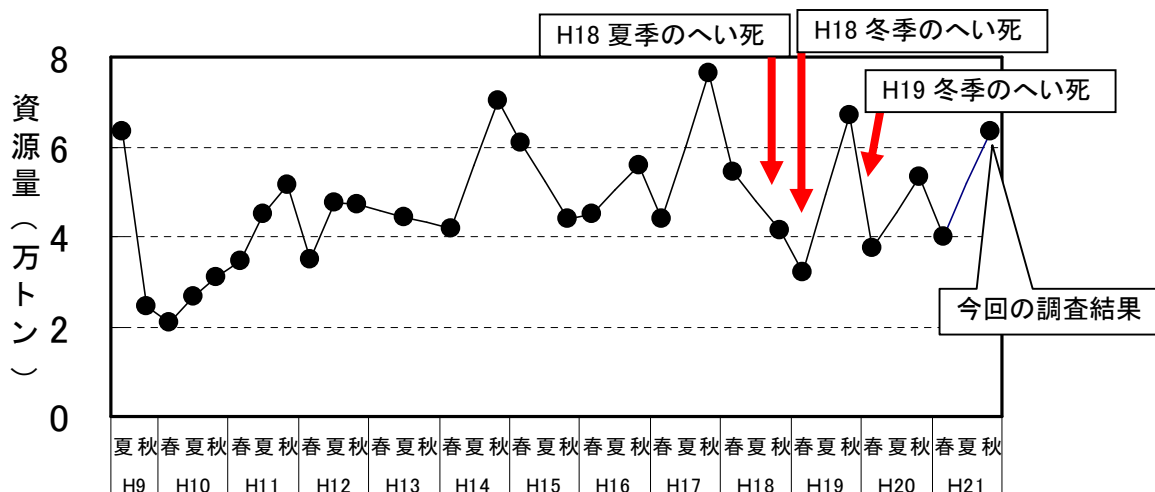


図1 宍道湖におけるヤマトシジミ資源量の変化

図2に平成21年春季と平成21年秋季のヤマトシジミ資源の殻長組成を示します。

殻長17mm以上のヤマトシジミが漁獲対象資源です。

ヤマトシジミの全体の資源個体数は1,279億個(春季)から1,714億個(秋季)に増加し、漁獲対象資源についても46億個から78億個へと増加が見られました。

秋から冬にかけてヤマトシジミはあまり成長しませんが、来春以降、殻長11mm前後の個体が成長とともに順次漁獲対象として加入してくるものと思われます。

図3に漁獲対象資源の資源重量の動向を示します。平成16年春以降、漁獲対象資源は2万トン程度で推移していましたが、平成18年の秋に1万トン、平成19年の春に5,800トンにまで減少しました。

これまでも漁業者が率先して資源管理に取り組んできましたが、さらに平成19年6月からはそれまで約150kgだった1日の漁獲上限を約120kg(平成20年8月からは約90kg)にするなど積極的に取り組みを行ったこともあり、漁獲対象資源は僅かずつですが増加の傾向が見られ、平成21年秋の漁獲対象資源量は約15,000トンとなっています。

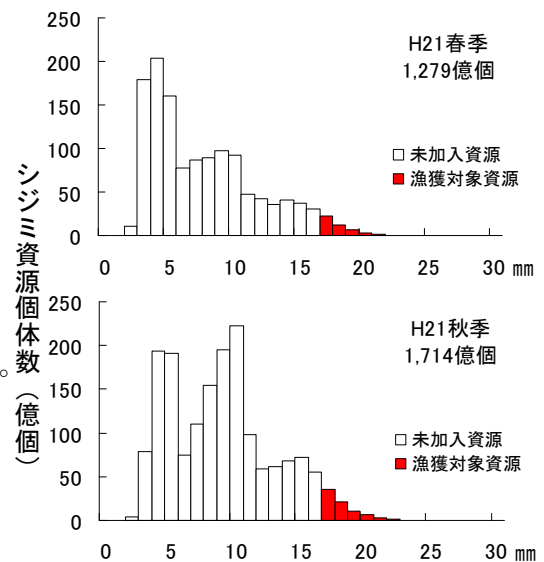


図2 殻長ごとの個体数組成

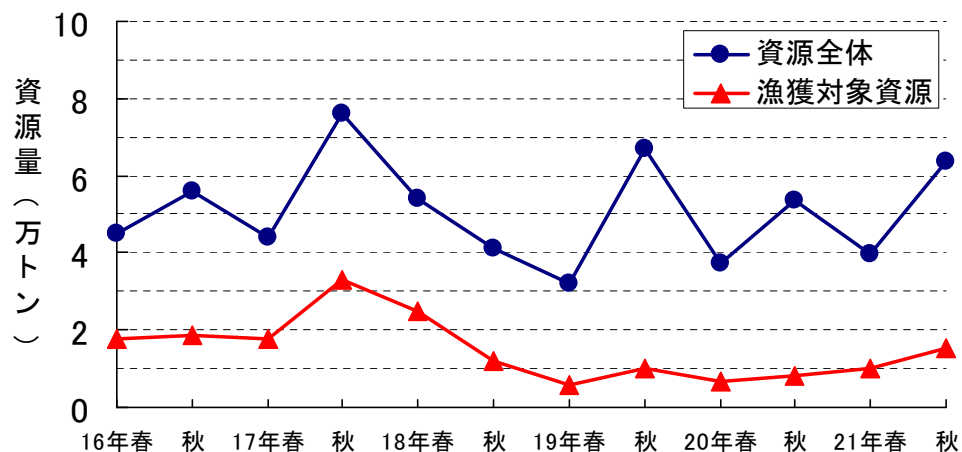


図3 漁獲対象資源重量の動向

- ◎ 水産技術センター内水面浅海部では漁業関係者や県民の皆様からの情報をお待ちしています。珍しい魚が捕れたり、川や湖で変わった現象などありましたら、是非下記までご連絡ください。
- ◎ 本誌はカラーの写真や図を使用しています。FAXでご覧の方は是非インターネットで内水面グループが運営するホームページ「島根の川と湖」にアクセスして本誌をカラーでご覧ください。

島根県水産技術センター 内水面浅海部 内水面グループ
 住所：島根県出雲市園町沖の島 1659-1
 TEL：0853-63-5101 FAX：0853-63-5108
 ホームページ：<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/naisuimen/>
 E-mail：suigi-naisuimen@pref.shimane.lg.jp